

会 議 結 果

会 議 名	令和元年度 第2回西尾市生涯学習推進委員会
日 時	令和元年12月20日（金）午後3時30分～5時00分
場 所	中央ふれあいセンター 1階 第1研修室
出 席 者	<p>推進員：（環境づくり部会）○中嶋和恵、◎野口富雄、三矢正隆、都築昭彦、辻 克典（敬称略）（人づくり部会）○中村茂雄、◎大嶋康之、加藤義康、兼子洋子（まちづくり部会）○星野和幸、久保田芳道、古橋雄一、與田靖子</p> <p>◎…推進員会会長、◎…同副会長、○…各部会長 ※欠席推進員2名</p> <p>事務局：筒井生涯学習課長、生涯学習課担当職員4名</p>
傍 聴 者	0人
議 題	（1）専門部会の事業計画について
結 果 等	<p>1 生涯学習課長あいさつ</p> <p>年末のお忙しい中第2回の推進委員会にご出席いただきありがとうございます。また、今年一年間生涯学習推進にご尽力いただきまして併せてお礼を申し上げます。今年度生涯学習課としましても、市民の生涯学習ニーズに応えられるように色々な講座や青少年事業・家庭教育事業を行いました。また、皆様が活動する施設の管理運営にも努めてまいりました。</p> <p>課題も色々ありまして、吉良の市民交流センターにつきましては、本来であれば令和2年の早い時期の開館を予定しておりましたが、少しずつれ込む見込みであります。吉良の方々にはご迷惑をかけている状況であります。他にも、中畑ふれあいセンター建設に向けた準備、また令和2年度には西野町ふれあいセンターが指定管理に移行する準備、他にも生涯学習推進計画にもありますが、子ども若者支援の総合相談窓口の設置に向けての準備、年明けには成人式の準備をしております。</p> <p>本日は議題として皆様方が活動して頂いております専門部会の報告をしていただくわけですが、生涯学習課でできない部分を皆様に補っていただいている本当に貴重な事業だと感じております。今後も皆様の 協力を得ながら、西尾市の生涯学習を推進して参りたいと思いますのでご理解ご協力をお願いします。</p> <p>2 議題（議事進行：会長）</p> <p>（1）専門部会の事業計画について</p> <p>前回の推進委員会（元年7月）で生涯学習課事務局から各専門部会に元年度の事業計画の作成を依頼し、今回は各部会にその発表をしていただく。</p> <p>① 環境づくり部会 部会長が元年度の事業計画を報告</p> <p>2年計画の2年目、体系3の生涯学習情報の収集と提供を行う。</p> <p>現状と課題は、（1）生涯学習情報が十分に伝わっていない面がある。（2）夜間管理人や再任用職員など、公民館窓口の体制が大きく変化し、生涯学習情報について相談されても、職員が十分に答えられない状況がある。（3）現在行われている講座の参加者に若い人の参加が少ないと思われます。</p> <p>具体的な施策内容は、課題（1）、（2）に対しては、現在行われている自主グループの活動状況を把握し、まとめたものを各地区の公民館・ふれあいセンターに置くことにより、学習情報</p>

の共有化と充実を図る。ニーズに応じた施設機能の情報提供を行う。

課題（3）に対しては、サークル・団体活動、講座の実施状況等を分析し、より多くの世代に参加してもらえらるための方策を検討する。現状では西尾市に限らず、若い人の参加が少ない。スポーツ面では若い人の参加がある。

このような政策内容のもと事業を実施してまいりました。そして今年度ですけれども事業計画のところでは。

4月～7月は、市内の公民館、ふれあいセンターで現在活動している自主活動サークル・団体の活動状況表冊子0版の配布及び校正。

8月～12月は、自主活動サークル・団体の活動状況表冊子第1版を作成。8月の館長会議で配布し、学習情報の共有化と充実を図る。活動状況冊子名を「サークル・団体活動情報」とし、0版に募集あり、なしの欄を新たに付け加え第1版とし、8月の館長会議で配布しました。「サークル・団体活動情報」の活用例の紹介も行いました。↑

なお、第0版にサークルの募集あり・なし欄を新たに付け加えた第1版として制作しました。

各項目ごとに料理・手芸・園芸など、青少年・子供・親子などを一覧で見れるように作成しました。各公民館ふれあいセンター市民からの問合せがあった際に活用していただきたい。

8月の館長会議で八ツ面ふれあいセンターと矢田ふれあいセンターが作成した資料を配布し、参考にしてもらいます。

12月の館長会議で、以下の2点について生涯学習課と環境づくり部会の連名のアンケートを配布し1月中旬迄に回答してもらおうよう依頼します。①「サークル・団体活動情報」をどのようにPRしたか。②問い合わせ件数がどれくらいあったか。アンケートの結果を見て次の対策を考えます。

学習情報のホームページ掲載についての検討。

委員が作成した「サークル・団体活動情報」のデータについて、①ジャンル別、②館別に市のホームページに掲載できないか情報処理課との話し合いを行った。

1月～3月の予定は、サークル・団体活動情報の活用状況の把握。サークル・団体活動情報及び講座の実施状況を生かして、より多くの世代に参加してもらえらる講座を提案します。年度末までには掲載をお願いしたい。

○質問・意見なし

② 人づくり部会 部会長が元年度の事業計画を報告

生涯学習推進委員会の活動内容の充実と実践化。令和元年度の公民館ふれあいセンターフェスティバルのポスターを作成。ポスターに「地域に密着したイベントですのでお気軽にご参加ください。きっとあなたの学ぶ喜びが見つかります。」ここを人づくり部会では強調したいところがあります。

※体系5 指導者の発掘と活用

現状と課題は、生涯学習推進員が各公民館、ふれあいセンターでの活動にどこまで関わっているか。現状を一步踏み出すために部員が行動する。

具体的な施策は、内生涯学習推進員が、地域の人たちとのふれあいの場を設定し、人づくり部会員自ら「一日おためし（講座）」を開講し、部員の資質の向上を図る。

※本計画は、2年計画の後半活動である。

7月31日(水) 第1回西尾市生涯学習推進委員会（推進計画の進捗状況と専門部会の事業計画

等)

8月28日(水) 令和元年度の活動方針と取組みについて、学習会を持つ。

大学講師の論文などを通じて生涯学習とは何かを検討。

9月25日(水) 活動計画の協議(「一日おためし講座」の具体的内容について)

12月14日(土) 寺津ふれあいセンターのフェスティバル研修と座談会(取組みの現状と課題について)

座談会での意見。一つ目、講座の中身や展示作品の質が良かった。二つ目、発表が子供の場合たくさんの観客が来ていたが、それが終わると波が引くように人がいなくなってしまった。せっかくの発表が盛り上がり残念だと思った。三つ目、講座やサークル活動は午前と午後に偏っており、夜間の活動は少ない。四つ目、部屋について。夜間は余裕があるが、日中に活動するサークルが多く部屋の空きがない。申し込みがあっても断ることもある。他のふれあいセンターに行くことを含め考えた方が良くもしいない。五つ目、寺津ふれあいセンターは観望会ができる天体観測機器を備えている。こういった施設があることが市民に周知されていない。非常にもったいなくて残念なことであります。

12月20日(金) 第2回西尾市生涯学習推進委員会

3月14日(土) 人づくり部会員による「一日おためし講座」の開講(一色公民館フェスティバルに参加)。講座内容は、一色町公民館1階の会議室をお借りして、美文字と数独に挑戦、作って遊ぼうバルーン教室を実施予定。生涯学習を身近に考える場として提供したいと考えております。

3月下旬 第3回西尾市生涯学習推進委員会(本年度のまとめ等)

○質問・意見

委員A/八ツ面ふれあいセンターは、八ツ面ふれあいセンターだよりというチラシを地域向けに出しておりまして、八ツ面ではフェスティバルに展示していただける一般の作品を募集をしているそうです。応募いただいた方には、フェスティバルで利用できる呈茶券を差し上げています。一般募集をかけるということは良いアイデアだと思います。

会長/公民館ふれあいセンターの活動を見て批評をしているのですが、自分たちで活動をやってみるという視点は非常に良いと思います。

課長/八ツ面ふれあいセンターは市の職員がいない指定管理館であります。公民館ふれあいセンターは誰でも使える施設ですが、まずは地元の方に身近な施設として利用していただきたいという思いがあって、自分たちの考えでチラシなどの案内を行っていると思います。

③ まちづくり部会 部会長が元年度の事業計画を報告

A 体系6の3 おやじの会がない学校への会設立の推進及び設立後の団体活動支援

長年このテーマで活動を行っているが、少しずつではありますがおやじの会の無い学校が会を設立したり、休止状態だった会が再び活動を始めるなど少しずつですが実績ができてきました。

現状と課題は、おやじの会では、地域ぐるみで家庭教育の活性化を行っています。育児について、お母さんだけでなく、お父さんにももっと参加して欲しい。学校や子供に関心を持って欲しい。また、おやじの会設立後の活動継続に悩んでいる団体への支援を行います。

具体的な施策内容は、市PTA連絡協議会を通じて周知活動を実施し、おやじの会がない学校

関係者に会の趣旨を説明し、設立を呼びかけます。団体が継続して活動していけるよう相談に応じます。

4月、現在委託している校区と昨年度吉良中学校から委託の了解を得たので、申請書を送付し、活動を始めました。吉良中学校のおやじの会は休止状態であったが、先生をはじめPTAのOBが中心となって話し合い、活動を再開しました。一つの成果と考えております。

8月21日 第1回部会 今年度の活動方針・事業計画について協議

9月～3月 随時小・中学校を訪問し、設立の話と現在委託事業を利用していない団体に事業の説明を行う。

訪問すると先生方は会の必要性を感じておりますが、PTAや地域との関係でできないというところが多々あります。今後も各学校を回って開設に理解していただけるようお願いしていこうと考えております。

B 体系7の2 西尾市子供防災カレッジの開講 部員が報告

現状と課題は、青少年の防災意識の向上を図る上で、小・中学生からの防災教育が必要である。

具体的な施策内容は、西尾市子ども防災カレッジを市内の小・中学生（保護者を含む）を対象に開講し、被災地から防災について学び、西尾市での備えに活かす。

「親子で学ぶ防災教室5～自然災害から命を守る～」

7月20日 13組の親子参加。台風や雷、竜巻などの自然災害時の行動について考え、雷のビデオを見て、雷クイズも実施。非常食を実際に作って食べてみたり、AEDの使い方講習を実施。

8月21日 第1回部会 今年度の活動方針・事業計画について協議。

9月～3月 今年度、子どもとその保護者を対象に、市内の災害遺構をバスで巡り、防災について考える講座を企画する。

12月号の広報に掲載していただいたのですが「親子で学ぶ防災教室」西尾市の災害遺構を巡る企画。市内にある三か所の災害遺構を訪れる予定です。三河地震の災害遺構や台風による高潮被害の遺構、水害を想定した住居などを見学する予定です。訪問予定の水害の遺構は一色東部小学校にあるのですが、先生も生徒も高潮水害の碑があることを知りませんでした。この報告は3月の推進員会で行います。もう一つはこの部会の中で話のありました件ですが、私が住んでいる地域を中心に活動してきましたけれど、防災に関しましては西尾市の行政の一丁目一番地のテーマでもあるということから、西尾市全体の公民館やふれあいセンターでも色々な企画をさせていただいて、各地元でも地域の色々な歴史を知っている方がいらっしゃるので、講師の発掘等を含めて色々広がってやっていただけることを期待しています。

○意見・質問

会長／地域の方も知らないような災害遺構があるのでそういったことを是非知っていただきたいと思えます。

その他

野口会長／人づくり部会が企画した、一色町公民館で実施する「1日お試し講座」は市民の方と参加してもらいたいのではないかとありますが、我々生涯学習推進員も何かひとつ自分の得意とするものをお持ちですので、それを発揮できるような場所を作ってみたらと考えておりました。3月に行う予定の中央ふれあいセンターフェスティバルの中心にできればと思い

ます。推進員みなさんにテーマを決めて何かやっていただきたいと考えています。

久保田委員／具体的に3月7・8日にブースを作って、生涯学習推進員会が何か体験コーナーを作るということですね。

事務局／現在中央ふれあいセンターで企画を進行中ですので、もし実施するなら早めに提案いただければ場所を確保します。

会長／急な提案ですので個人で参加できる方のみで実施する方向で検討しましょう。次年度については推進員会の中で検討しましょう。